

花葉会総会

平成22年10月17日(日)午後2時より、平成21年度・平成22年前期花葉会総会が、千葉大学園芸学部松戸キャンパスE棟2階合同講義室にて開催されました。出席者43名、宮田増美幹事の司会進行で定刻通り開始。

安藤敏夫会長より、開会の挨拶と大学の近況報告がありました。「まず、飯塚宗夫元教授(平成22年4月)、および花葉会会計監査の村川文彦監事(平成22年8月)の訃報をお知らせし、哀悼の意を表します。なお、昨年は千葉大学園芸学部の移転問題が終結し、100周年記念事業が行われるなど激動の年でした。しかし今年は平穩無事です。さて、サマーセミナーでも、花産業を環境を整える産業として捉え、花産業を拡大しようと活動しています。さらに前進するためには法律的なバックアップが必要です。今年4月、山下ようこ都議会議員が一般質問に立ち、環境問題として屋上緑化はすでに条例化されているが、オフィスビルの室内の緑化についてどう考えているかと質問。緑の役割は多様かつ重要であると認識していると回答がありました。花産業の発展のためにも、東京都から条例化を

ぜひ実現させたいものです」。

午前中に開催された幹事会で推薦を受けた長岡求幹事長が議長に指名され、議事に入りました。なお、平成21年総会議題にて決定のとおり、9月を事業開始月に変更したことから、平成22年前期を平成22年4月～8月としたとの報告がありました。

平成21年度事業報告

(平成21年4月～平成22年3月)

- ① 7月18・19日
第26回花葉サマーセミナー
- ② 10月10日 総会
- ③ 花葉会賞の贈呈
21年度の受賞者は、篠田朗彦氏(昭和37年造園学科卒)、西川勲氏(昭和38年農業別科修了)、今西弘子氏(昭38年総合農学科卒)の3名であった。
- ④ 11月25日～30日第19回台湾への海外園芸事情調査。
- ⑤ 12月10日「花葉」28号発行
- ⑥ 花産業必携1000属検定
- ⑦ 幹事会の開催は、平成21年4月25日、6月20日、7月19日、8月29日、10月10日、11月21日、12月19日、平成22年1月30日、2月21日の9回。

平成21年度会計報告

収入の部

前年度繰越金	1,230,071
会報広告料(28号分)	978,950
サマーセミナーテキスト売上	91,720
書籍売上	8,500
卸用カタログ売上	27,250
協力金	371,310
セミナー収入	0
基金より繰入	2,000,000
基金より繰入(次年度セミナー会場費)	0
基金より繰入(セミナー補填分)	1,227,157
雑収入	57,483
預金利息	262
過誤入金	27,000
合計	6,019,703円

支出の部

印刷費	20,475
会報関係	1,327,310
通信費	84,990
運送費	7,320
記念品代	132,300
会議費	364,707
事務費	445,092
賃金	378,150
慶弔費	21,000
税金	65,431
過誤入金戻入	27,000
セミナーへの補填	1,227,157
日本花普及センター賛助金	100,000
柏の葉キャンパス桜苗木代	115,200
次年度分セミナー会場費	0
合計	4,316,132円
差引残高	1,703,571円

第26回

2009年花葉サマーセミナー会計

平成21年7月18・19日、(助)全電通労働会館 全電通ホールにて



総会会場

開催。参加者数 210 名（うち幹事、講師、記者、発表者、学生等関係者計 84 名）

収入

受講料		
@ 30,000 × 91 名	2,730,000	
その他割引 35 名	933,000	
合計 126 名	3,663,000 円	

支出

会場費	2,412,613
印刷費	869,000
講師謝礼	600,000
講師旅費宿泊費	390,150
通信費	22,810
運送費	216,240
事務費	249,521
会議費	4,361
広告費	58,800
税金	66,662
雑費	66,666
合計	4,890,157 円
差引	-1,227,157 円

基金報告

(平成 21 年 4 月～平成 22 年 3 月)	
前年度残高	24,324,630
きよ金	0
定期利息	55,480
普通利息	425
前年度会場費戻入	582,750
セミナー補填 △	1,227,157
次年度セミナー会場費	0
一般会計へ繰入れ	
	△ 2,000,000
合計	21,736,128 円
(平成 22 年 3 月 31 日現在)	

平成 22 年前期事業報告

(平成 22 年 4 月～8 月)

- ① 6 月 26・27 日 第 27 回花葉サマーセミナー
 ② 幹事会は平成 22 年 5 月 29 日、6 月 27 日、8 月 8 日の 3 回行われた。

平成 22 年前期会計報告

収入の部

(平成 22 年 8 月 31 日現在)	
前年度繰越金	1,703,571
会報広告料 (29 号)	0
サマーセミナーテキスト売上	32,000
卸用カタログ売上	11,500
協力金	24,520
セミナー収入	420,896
基金より繰入	0
基金より繰入 (セミナー補填分)	0
雑収入	44,486
預金利息	266
合計	2,237,239 円

支出の部

印刷費	40,950
会報関係	4,140
通信費	2,730
運送費	0
記念品代	0
会議費	43,505
事務費	35,785
賃金	211,885
慶弔費	60,900
税金	66,488
セミナーへの補填	0
日本花普及センター賛助金	100,000
合計	566,383 円
差引残高	1,670,856 円

第 27 回

2010 年花葉サマーセミナー会計

平成 22 年 6 月 26・27 日 千葉大学けやき会館にて開催。参加者数 253 名（うち幹事、講師、記者、発表者、学生等関係者計 86 名）

収入

受講料		
20,000 × 133 名	2,660,000	
その他割引分 34 名	612,000	
合計 167 名	3,272,000 円	

支出

会場費	915,500
印刷費	573,300
講師謝礼	400,000
講師旅費	391,660
通信費	12,200
運送費	229,600
事務費	280,520
会議費	3,880
税金	44,444
合計	2,851,104 円
差引	420,896 円

基金報告

(平成 22 年 4 月～平成 22 年 8 月)	
前年度残高	21,736,128
定期利息	0
普通利息	240
セミナー補填	0
一般会計へ繰入れ	0
合計	21,736,368 円

会計監査報告

監事の河野寛司氏より、「平成 21 年度、および平成 22 年前期の会計収支の監査の結果、事務処理および諸帳簿の記載は正確かつ適正に行われていたことを報告しま

す」と、報告がありました。

平成 22 年度事業計画

(平成 22 年 9 月 1 日～平成 23 年 8 月 31 日)

① 第 28 回 2011 年花葉サマーセミナー開催

平成 23 年 6 月 25・26 日(土)(日)

会場：千葉大学けやき会館

懇親会会場：千葉大学食堂

② 「花葉」29 号 発行

③ 花産業必修 1000 属検定

④ 第 21 回海外園芸事情調査

平成 22 年 9 月 22 日～9 月 29 日

「メキシコ」

⑤ 花葉会賞の贈呈

平成 22 年度予算

収入の部

前年度繰越金	1,674,996
会報広告料 (29 号分)	1,055,000
サマーセミナーテキスト売上	50,000
その他の収入	264,704
基金より振り入れ	0
預金利息	300
合計	3,045,000 円

支出の部

印刷費	110,000
会報関係	1,400,000
通信費	100,000
運送費	5,000
記念品代	150,000
会議費	300,000
事務費	260,000
賃金	500,000
慶弔費	50,000
税金	70,000
雑費	100,000
合計	3,045,000 円

会計監査役の選任

新会計監査役 篠田 朗彦 氏
(村川 文彦 氏のご逝去に伴う)

なお、以上の議題は、拍手をもって承認されました。

花葉会賞贈呈

総会に引き続いて、花葉会賞の贈呈がありました。長岡求幹事長より、野原宏氏(昭和 39 年園芸学科卒)、安藤正彦氏(昭和 40 年園芸学科卒)、市川恵一氏(昭和 40 年園芸学科卒)の 3 名を紹介。安藤会長より賞状と記念品が授与されました。

受賞者を代表して市川恵一氏より、挨拶がありました。

受賞記念講演

安藤正彦氏より、「世界のガーデンセンターから学ぶ園芸の現状」と題して、講演が行われました。

学内散策

午後 4 時より 30 分ほど、安藤敏夫会長の案内で温室、鈴木邦彦幹事の案内で 100 周年記念事業関連の 2 グループに分かれ、学内散策が行われました。

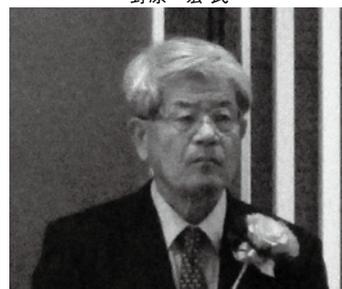
懇親会

午後 4 時 30 分より、緑風会館 2 階にて、武内嘉一郎幹事、鈴木邦彦幹事の司会進行で懇親会が始まりました。

乾杯の発声を小田善一郎氏が行いました。途中、都議会議員の山



野原 宏氏



安藤 正彦氏



市川 恵一氏

下ようこ幹事の挨拶、若手の石黒伸生氏、西山絵梨香氏の近況報告、学生の就職活動などもあり、終始和やかな雰囲気、盛会のうちに終了しました。

(文責：編集部)